



初めてのスキーに悪戦苦闘する沖縄の子どもたち

沖縄の児童 初めてのスキーに興奮

1月19日、神室スキー場に沖縄県の児童らおよそ70名が訪れ、初めてのスキーを楽しみました。

これは、最上広域市町村圏事務組合が「中部広域圏児童の派遣交流事業」として毎年行っているレクリエーションのひとつ。中には本物の雪を初めて見たという児童もあり、雪上で思うように動かない体に、あちこちで悲鳴があがっていました。半日もするとみんな少し慣れた様子で「最初は怖かったけど、滑れるようになって楽しい。もっと練習したい」などと無邪気な笑顔で話していました。スキーを通して、金山の子どもたちとの友情も深まっているようでした。

町内中高生ら めごたま園児と雪の交流

1月25日、認定こども園めごたまに、新庄南高山校と金山中の生徒約100名が訪れ、「中高生合同ボランティア」として、雪上で園児たちと交流を図りました。

両校の2年生と金山校生徒会が参加。園内の地形を活かした自然のすべり台や雪像づくりを、園児たちと一緒に楽しみました。一方、園児たちはカップケーキ屋さんなど、グループごとに工夫を凝らした出店でおもてなし。「みんな元気で可愛らしい。楽しく交流できた」と長倉大和くん（金山中2年）は話していました。これからも優しい奉仕の気持ちを持って、地域や社会に貢献してくれることを期待します。



めごたま園児と中高生がともに楽しんだ雪上すべり台



スパイクやブロックが要所で決まり白熱した各試合

ソフトバレーフェスタ 寒さも吹き飛ばす激闘

2月12日、金山中学校体育館を会場に、第14回ソフトバレーフェスタが開催され、全15チームによる寒さを吹き飛ばす熱戦が展開されました。

参加チームは多種多様。地区の選抜や金山中生、その保護者をはじめ、様々な世代の皆さんがソフトバレーボールを通して交流を深めました。ハイレベルな戦いを勝ち抜いたのはチーム「A R A Y A」。実はキャプテンの阿部江美さんとエースの阿部汐渚くん（金山中3年）は親子。阿部キャプテンは「元気とチームワークの勝利」と照れ笑いを浮かべながら話していました。どの試合も好プレーや珍プレーが続出し、笑顔の溢れる1日となりました。



優勝をもぎ取ったチーム「A R A Y A」

順位	チーム
優勝	A R A Y A
準優勝	山崎ニラズ2
3位	十日町チェッカーズ
4位	金中野球部 母の会+α
5位	おーるじゃぱん
6位	金中野球部 父の会

＝第14回ソフトボールフェスタ結果＝

まちのわだい

町内各地 除雪ボランティアの輪

2月4日、新庄南高金山校の生徒及び新庄南高校へ金山町から通学している生徒による除雪ボランティアが実施されました。この日は、町内の一人暮らし高齢者世帯等、9世帯を対象に実施。それぞれの世帯の要望を聞きながら、除雪作業に取り組みました。作業が終わると、高齢者の皆さんからは「ありがとう。いつも助かっている」といった感謝の言葉。生徒たちは少し照れながら誇らしげな表情を浮かべていました。

また、2月13・14日にかけて、みすぎ荘職員の皆さんが一人暮らし高齢者世帯の除雪作業を行いました。毎年恒例となっているこのボランティアは、今年で6年目。前日に大雪の降った13日は、軒先の雪下ろしや家屋周りの除雪を実施。「喜んでもらえて嬉しいです」と6名の職員の皆さんは汗をかきながら、協力して作業にあたっていました。

今年も、町内各地で除雪ボランティアの輪が広がっていました。



熱心に除雪作業を行う新庄南高生



みすぎ荘職員の皆さんによる除雪作業

雪上で楽しく熱戦 羽場地区雪まつり

2月19日、羽場公園を会場に羽場地区雪まつりが開催され、参加した50名を超える地区の老若男女が、雪上で笑顔あふれる熱戦を繰り広げました。

「冬にも地区住民が交流できるイベントができないか」という思いから、地区のボランティアが企画し毎年恒例となっている雪まつり。参加者は雪像づくりや雪上かるた、雪玉を使った冬ならではのくすだま割りなど、各種目に挑戦しました。印象的だったのは、子どもから高齢者まで幅広い世代が全力で楽しんでいて、日が暮れると皆さんでお歳灯を囲み暖まりながら、それぞれが1年の幸福を願いました。



雪玉を使ってくすだまを割る子どもたち

四季の学校・谷口 最後の農村体験学校

2月11・12日をもって、農村体験学校「四季の学校・谷口」が20年の歴史に幕を閉じ、閉校を迎えました。

最後の冬の学校には、主に仙台市からおよそ30名が参加。2日間にわたり冬の金山を遊び尽くした後は、参加した皆さんに卒業証書が授与されました。

運営するNPO法人四季の学校・谷口も3月末で解散の予定。理事長の庄司博司さん（谷口）は「あっという間の20年だった。今は言い尽くせぬ想いでいっぱい。皆さんに感謝したい」と涙ながらに話していました。皆さんは同窓会での再会を約束し、名残惜しそうに「四季の学校」を後にしていました。



最後の「四季の学校・谷口」に参加した皆さん